

3Rの啓発に向けた県の取り組みについて

熊本県ごみゼロ推進県民大会

廃棄物の3R(リデュース(排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用))の取り組みについて、県民の意識の向上を図るため、県民大会を開催しました。

大会テーマ **ごみゼロくまもと 一人一人がエコライフ**

日時：平成22年9月28日(火) 午後1時30分～3時30分
場所：くまもと県民交流館 パレア 参加者：県民、事業者、行政関係など 約300名



大会の様子

内容

■マイバッグキャンペーン標語 表彰

■ごみ減量&リサイクル実践事例発表

「レジ袋 ことわる心がエコロジー」

発表者：熊本市消費者団体連絡会 副会長 にしばしくみこ 西橋久美子氏

「ゼロ・ウェイストへの道～ごみゼロ社会を目指して～」

発表者：水俣市福祉環境部環境モデル都市推進課 課長 かわのえいじ 川野恵治氏

■講演

演題「あさりみずすごみは意外に雄弁だ」

講師 あさりみずす 浅利美鈴氏(京都大学環境保全センター助教)

■展示コーナー出展者

マイバッグママの会：家庭からできるごみ削減とCO₂削減

(株)田中商店：リユースびん(Rびん)の紹介

熊本消費者協会：風呂敷の包み方

(株)西原商店：企業による資源再生の取り組み

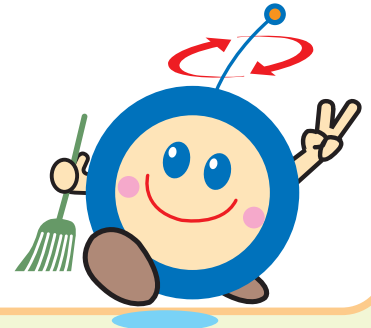
熊本県地域婦人会連合会：新聞紙などで作るエコバッグ



表彰の様子



あさりみずす 浅利 美鈴氏



九州統一マイバッグキャンペーン

事業者・消費者・行政が一体となり、マイバッグ持参によるゴミの減量化を訴えるため、毎年10月を強化期間として、九州7県が共同でキャンペーンを実施しました。

期間：10月1日～10月31日

場所：県内全域

内容：標語の募集



マイバッグキャンペーンを広くアピールするため、標語を募集しました。今年、2,770点の応募をいただきました。

審査結果

九州統一マイバッグキャンペーン部門



優秀賞 「マイバッグ 使って咲かせる エコの花」

【中学生・高校生の部】

ふるさと ちえ 古里 智恵さん 熊本県立水俣工業高等学校3年



熊本県マイバッグキャンペーン部門



ゼロッピー大賞 「声かけて 家族みんなで マイバッグ」

うらた かずと 浦田 和人さん 熊本市立長嶺小学校6年



ゼロッピー賞 「マイバッグ 一人一人が できること」

【小学生の部】 あかむら りく 岡村 玲空さん 熊本市立桜井小学校3年



ゼロッピー賞 「いりません 小さな勇気で キレイな地球へ」

【中学・高校の部】 いちふし かれん 一藤 香紫さん 熊本県立水俣工業高等学校1年



ゼロッピー賞 「マイバッグ 身近に感じる エコ気分♡」

【一般の部】 いしだ よ 石田 ふみ代さん 錦町



一斉行動参加店の募集

10月のキャンペーン期間中に、レジ袋削減の取り組みを実施していただきました。

一斉行動参加店実施報告集計結果(熊本県)

◆参加店舗数

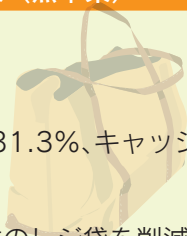
1,010 店舗

◆マイバッグ持参率(レジ袋辞退率)

約26.4%(手法別 シール・スタンプ31.3%、キャッシュバック43.3%、有料化69.0%など)

◆レジ袋削減枚数

約746万枚 ※県民1人当たり4.1枚のレジ袋を削減



レジ袋削減による効果(レジ袋削減枚数 746万枚をベースに試算)

◆ごみ減量

約74.6tの減量(レジ袋1枚(L L判)の重さ10gで試算)

◆CO₂の削減

約448tを削減(レジ袋1枚(L L判)から60gのCO₂排出として試算) およそ3万2千本のスギの木が1年間に吸収する二酸化炭素量

◆資源(石油)の節約

約137kℓを節約(レジ袋1枚(L L判)の生産に石油18.3mℓが必要として試算)

※一斉行動参加店の皆さまありがとうございました。今後もレジ袋の削減及び廃棄物の排出抑制にご協力ください。

実施結果の詳細は <http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/45/isseikekka.html>